

- それでは、今月の集会も気持ちの良い挨拶からスタートしましょう。桜っ子の皆さん、こんにちは。

- 11月は、持久走大会がありましたね。校長先生も、皆さんと一緒に走らせてもらいました。それぞれ自分なりのめあてを持って、「一生懸命に頑張る桜っ子の姿」を間近で、たくさん見ることができて、とても感動したし、みんなとても格好良かったです。自分で、頑張った自分自身を、たくさん褒めてあげてください。そして、この持久走大会に向けた取組で身に付けた「一生懸命がんばる心」「あきらめない心」をこれからの学校生活に活かしてほしいです。

- 12月になりました。朝晩の冷え込みはかなり厳しいですが、寒さに負けず「朝マラソン」など、外で体を動かしたり、たくさん栄養や睡眠をとったりして、丈夫な体を作りましょう。また、うがい・手洗いや教室の換気など、基本的な感染対策をきちんとして生活しましょう。

- さて、今日は「人権」についてお話します。
- 昨日の月曜日12月4日から今度の日曜日12月10日までの1週間は、「人権週間」、その最後の日12月10日は「世界人権デー」になっています。
- 「人権」というのは、私たち人間がみんな、生まれた時から持っている「自分らしく、幸せに生きる権利」のことです。「権利」も低学年のみなさんには難しい言葉ですね。もう少し分かりやすく言うと、私たちは、生まれた時から、「自分らしく、幸せを感じながら生きていいですよ」と守られている、ということです。
- 「差別」や「いじめ」は絶対にしてはいけないことです。それは、一人一人が持っている人権を無視する行為だからです。そのような「差別」や「いじめ」を自分がしないことはもちろん、そのような行為を見かけた時に「見て見ぬふり」をするのもいけません。「見て見ぬふり」は、一緒になって「差別」や「いじめ」をしているのと同じことになってしまいます。もし見かけた場合は、自分で注意を

するか、周りの大人に相談してください。

○ここで、ひとつの詩を紹介します。3年生の国語の教科書に出てくるので、3年生以上の皆さんは、聞いたことのある詩だと思います。

「わたしと小鳥とすずと」 金子みすゞ

私が両手をひろげても、お空はちっとも飛べないが
飛べる小鳥は私のように、地面を速くは走れない。
私がからだをゆすっても、きれいな音は出ないけど、
あの鳴る鈴は私のように、たくさんな唄は知らないよ。
鈴と、小鳥と、それから私、 みんなちがって、みんないい。

○今の詩は、私（つまり人間）と、小鳥と、鈴は、それぞれ得意なことと苦手なことがあるけれど、それぞれに「いいところ」があるんだよってというお話ですが、同じ人間同士でも、男の子と女の子、大人と子供、日本人と外国の人、背の大きい人と小さい人、そして得意なことや苦手なこと、好きなものや嫌いなもの、一人一人がみんな違う人間です。

○「みんな違って、みんないい」先ほどの詩は、そう言って終わりますが、私たち人間も、「みんな違って、みんないい」なのです。みんながそれぞれに「いいところ」を持っています。自分や友達の「いいところ」をたくさん見つけられるといいですね。そして、帰りの会などで、たくさん発表してみてください。

○「お互いのいいところを見つける」それが、「人権を大切にする」第一歩です。

○ということで、今日は人権についてのお話をしました。

○それでは、残り少ない2学期。みんなで充実したまとめができるよう、頑張っていきましょう。お話を終わります。